

島根学習センター概要



令和6年4月

 **放送大学** 島根学習センター

目 次

放送大学及び島根学習センターの沿革	・ ・ ・ ・	1
放送大学設立の趣旨・目的	・ ・ ・ ・	2
島根学習センターの主な事業・活動		
・面接授業	・ ・ ・ ・	3
・公開講演会	・ ・ ・ ・	5
・だんだんセミナー	・ ・ ・ ・	5
・学生のためのパソコン活用講座	・ ・ ・ ・	5
・客員教員によるゼミ	・ ・ ・ ・	6
・学習相談	・ ・ ・ ・	6
・学生研修旅行	・ ・ ・ ・	6
・サークル活動	・ ・ ・ ・	6
島根学習センター令和6年度第1学期の学生現況		
・学生数の推移	・ ・ ・ ・	7
・履修科目の状況	・ ・ ・ ・	8
・教養学部の状況	・ ・ ・ ・	9～10
・大学院の状況	・ ・ ・ ・	10
・卒業生、修了生の推移	・ ・ ・ ・	11
・市町村別在籍者数	・ ・ ・ ・	12～13

放送大学及び島根学習センターの沿革

昭和	56 (1981) 年	6 月	放送大学学園法公布・施行
		7 月	放送大学学園設立
	58 (1983) 年	4 月	放送大学設置
	59 (1984) 年	10 月	放送局免許(東京局) 放送局免許(前橋局)
60 (1985) 年	4 月	放送による授業開始	
		学習センター(群馬、埼玉、千葉、東京第一、東京第二、神奈川)学生受入開始	
平成	元 (1989) 年	4 月	第1回卒業式
	8 (1996) 年	4 月	島根地域学習センター準備室設置(施設面積367㎡)
		6 月	島根地域学習センター事務所開き
		7 月	第81回放送大学公開講演会
		9 月	島根地域学習センター開所式
		10 月	島根地域学習センター学生受入開始
	9 (1997) 年	10 月	委託放送業務認定(CSデジタル放送)
	10 (1998) 年	1 月	CSデジタル放送による全国放送開始
		4 月	「島根地域学習センター」から「島根学習センター」に改組
	11 (1999) 年	6 月	面接授業(集中型)を開設
			島根学習センター所属の全科履修生から初の卒業生
		10 月	面接授業(土日型)を開設
		12 月	島根大学と単位互換協定締結
	12 (2000) 年	5 月	センター外再視聴施設(いわみーる3階放送大学浜田コーナー)設置
	13 (2001) 年	3 月	島根医科大学と単位互換協定締結
		4 月	放送大学大学院設置
			施設拡充(3階108㎡ 合計475㎡)
	11 月	第122回放送大学公開講演会	
	14 (2002) 年	4 月	大学院【文化科学研究科】学生受入開始
	15 (2003) 年	3 月	第1回島根学習センター文化祭「私が楽しんでいること」展
	16 (2004) 年	3 月	島根学習センター所属の修士全科生から初の修了生
	17 (2005) 年	10 月	センター外再視聴施設(益田市中央公民館2階放送大学益田コーナー)設置
	18 (2006) 年	9 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市民学習センター内に移転
		10 月	島根学習センター開設10周年記念講演会
	19 (2007) 年	6 月	島根県立大学と単位互換協定締結
	21 (2009) 年	2 月	島根大学との双方向単位互換協定書覚書締結
	23 (2011) 年	10 月	BSデジタル放送開始
			島根学習センター開設15周年記念事業
	24 (2012) 年	3 月	CSデジタル放送終了
		10 月	古事記編纂1300年を記念して学術講演会開催
25 (2013) 年	4 月	放送大学島根同窓会が設立	
	4 月	教養学部情報コース及び大学院情報学プログラムの設置	
	10 月	放送大学30周年記念講演会	
26 (2014) 年	1 月	出雲コンピュータ専門学校と連携協力に関する覚書締結	
	4 月	放送大学大学院博士後期課程設置	
27 (2015) 年	4 月	オンライン授業配信開始	
28 (2016) 年	4 月	カリキュラム改正	
	11 月	島根学習センター開設20周年記念事業	
30 (2018) 年	4 月	島根学習センター図書視聴室にWi-Fi環境整備	
令和	元 (2019) 年	5 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市立図書館内に移転
	2 (2020) 年	3 月	島根県立大学大学院と単位互換協定締結
	3 (2021) 年	11 月	島根学習センター開設25周年記念事業
	4 (2022) 年	1 月	島根県立大学と双方向単位互換協定書覚書締結
	5 (2023) 年	10 月	放送大学40周年記念式典・シンポジウム

放送大学設立の趣旨・目的

放送大学は、テレビ・ラジオ放送による大学教育の普及発達を図ることを趣旨として設立された大学で、その具体的な目的は、次のとおりです。

- 1 生涯学習機関として、広く社会人等に大学教育の機会を提供する
- 2 高等学校卒業生等に対し、柔軟かつ流動的な大学進学を提供する
- 3 既存の大学との連携協力等による我が国の大学教育の改善へ貢献する

学生の種類

【教養学部】

学生種		在学期間
全科履修生	卒業(学位取得)を目指す学生等	4年～最長10年
選科履修生	希望する科目を履修する学生	1年
科目履修生		半年
集中科目履修生	「司書教諭資格取得に資する科目」を履修する学生	3か月 (7月～9月)
	「看護師資格取得に資する科目」を履修する学生	

※看護師資格取得に資する科目は、2020年度から一般科目に移行

【大学院文化科学研究科】

・修士課程

学生種		在学期間
修士全科生	修士(学術)の学位取得を目指す学生	2年～最長5年
修士選科生	学習・研究したい科目を履修する学生	1年
修士科目生		半年

・博士後期課程

学生種		在学期間
博士全科生	博士(学術)の学位取得を目指す学生	3年～最長8年

学習センター

現在、全国都道府県に57カ所の学習センターやサテライトスペースが設置され、放送大学の学生サービスの拠点となっています。これらの施設には、放送授業番組を視聴できる再視聴室、講義室、学生談話室などがあります。

- 学習センターの役割
1. 放送授業の再視聴
 2. 単位認定試験の実施
 3. 面接授業の開講
 4. 放送授業(DVD・CD)、図書の開覧
 5. 学習相談の実施
 6. サークル活動や交流

島根学習センター 主な事業・活動

◆面接授業 令和5年度第1学期(実績)

開催場所は島根学習センター

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	-	新・初歩からのパソコン	佐竹 易子	6月3日(土)、4日(日)
	外国語	韓国の文化に触れてみよう!	林 河運	5月20日(土)、21日(日)
専門	生活と福祉	精神医学基礎編	石丸 昌彦	5月20日(土)、21日(日)
		健康と運動の科学	辻本 健彦	6月17日(土)、18日(日)
	心理と教育	これまでの学校/これからの学校	大野 公寛	5月13日(土)、14日(日)
		心理学実験1	豊島 彩	7月1日(土)、2日(日)
	社会と産業	市民生活と保険法	李 鳴	4月22日(土)、23日(日)
		経営学:企業の在り方と企業戦略	葛西 洋平	6月17日(土)、18日(日)
導入	人間と文化	近世・近代の世界歴史	荒川 正晴	7月1日(土)、2日(日)
専門	人間と文化	松江城の構造と近世城郭	中井 均	4月15日(土)、16日(日)
		情報	リモートセンシング入門	下舞 豊志
	自然と環境	島根の火山フィールド・スクール ※1日目 大根島 2日目 三瓶山	高須 晃	5月27日(土)、28日(日)
		SDGsと自然環境	松本 一郎	6月3日(土)、4日(日)

◆面接授業 令和5年度第2学期(実績)

※以外の開催場所は島根学習センター

※浜田市 いわみーるで開催

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	小泉八雲で英語を学ぶ	松浦 雄二	11月11日(土)、12日(日)
		文化と学ぶ初めてのフランス語	安齋 有紀	12月2日(土)、3日(日)
専門	生活と福祉	障害の理解と支援	京 俊輔	10月21日(土)、22日(日)
		食品学	鶴永 陽子	12月16日(土)、17日(日)
	心理と教育	心理学実験3	源 健宏	10月14日(土)、15日(日)
		情報化社会と大学教育	苑 復傑	10月28日(土)、29日(日)
	社会と産業	人口減少と地域再生	田中 輝美	1月6日(土)、7日(日)※
	人間と文化	古墳時代出雲の考古学	岩本 崇	1月6日(土)、7日(日)
		西洋美術の楽しみ方	西田 兼	1月27日(土)、28日(日)
	情報	支援機器とUX	廣富 哲也	11月18日(土)、19日(日)
	自然と環境	斜面災害の発生と対策	小暮 哲也	10月21日(土)、22日(日)
		昆虫の科学と害虫防除	塩月 孝博	11月25日(土)、26日(日)

◆面接授業 令和6年度第1学期(予定)

開催場所は島根学習センター

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	日常のなかのフランス語	的場 寿光	6月29日(土)、30日(日)
導入	心理と教育	今、日本で求められる英語教育	大谷 みどり	5月25日(土)、26日(日)
専門	生活と福祉	子どもの保健	前林 英貴	6月1日(土)、2日(日)
		インクルーシブ社会の障がい学	水内 豊和	6月8日(土)、9日(日)
	心理と教育	心理学実験2	村瀬 俊樹	5月18日(土)、19日(日)
	社会と産業	経済の地方特性について	松原 隆一郎	5月11日(土)、12日(日)
		建築遺産の空間学	千代 章一郎	5月25日(土)、26日(日)
		基本的人権保障の現代的課題	黒澤 修一郎	6月22日(土)、23日(日)
	人間と文化	オリンピック文化史	浜田 幸絵	4月20日(土)、21日(日)
		ウクライナとポーランドの歴史	小山 哲	6月15日(土)、16日(日)
		アンデスの文化遺産と博物館	鶴見 英成	7月6日(土)、7日(日)
	自然と環境	山陰地域の内陸地震と活断層	向吉 秀樹	5月18日(土)、19日(日)

◆面接授業 令和6年度第2学期(予定)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

※浜田市 初日は県立大学、2日目はいわみーるで開催

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	英会話とオンライン学習ツール	クリス ラング	11月9日(土)、10日(日)
導入	人間と文化	山陰地域の民俗文化	中野 洋平	10月12日(土)、13日(日)
専門	生活と福祉	人体発生学	橋本 龍樹	10月26日(土)、27日(日)
		子ども家庭福祉入門	佐藤 桃子	11月16日(土)、17日(日)
		栄養管理について学ぼう!	澤 幸子	12月7日(土)、8日(日)
	心理と教育	心理検査法基礎実習	高見 友理	11月30日(土)、12月1日(日)
		特別支援教育	西村 健一	12月21日(土)、22日(日)
	社会と産業 人間と文化	世界の都市景観	菊池 慶之	10月12日(土)、13日(日)
		朝鮮半島政治論	福原 裕二	10月26日(土)、27日(日)※
	人間と文化	日本近代文学入門	武田 信明	10月19日(土)、20日(日)
	情報	情報化社会とボランティア活動	山田 恒夫	12月14日(土)、15日(日)
	自然と環境	生物発生進化と性分化	西川 彰男	10月19日(土)、20日(日)

◆公開講演会(令和5年度2学期)

県内各地で、県民向けに1時間半程度の公開講演会を行っています。

令和5年度(延べ178人参加)

●イカは何を見ているのか？

講師 尾崎 浩一 氏 (島根大学名誉教授、放送大学
島根学習センター客員教授)

令和5年10月7日(土) 14:30~16:00

西ノ島町立中央公民館 講義室 17名参加



●ことばの獲得をささえるもの

講師 村瀬 俊樹 氏

(島根大学教授、放送大学島根学習センター客員教授)

令和5年10月28日(土) 10:00~11:30

出雲市役所くにびき大ホール 25名参加

●岩石と鉱物の世界 -日本の国石:翡翠・ヒスイ・ひすい-

講師 高須 晃 氏 (島根大学名誉教授、放送大学島根学習センター客員教授)

令和5年11月11日(土) 14:30~16:00

西部社会教育研修センター(いわみーる3階)302 研修室 15名参加

●岩石と鉱物の世界 -日本の国石:翡翠・ヒスイ・ひすい-

講師 高須 晃 氏 (島根大学名誉教授、放送大学島根学習センター客員教授)

令和5年11月12日(日) 10:00~11:30

益田市立図書館視聴覚室 16名参加

●読むことと書くことの比較文化論

講師 出口 顕 氏 (島根大学名誉教授、放送大学島根学習センター所長)

令和5年12月24日(日) 10:00~11:30

出雲市役所くにびき大ホール 37名参加

◆だんだんセミナー

客員教員等が、それぞれの専門領域とその周辺で、講義形式・演習形式で学問の楽しさや研究への取り組みなどを語ります。 開催場所:島根学習センター ※令和5年度で終了

令和5年度(延べ305人参加)

- ユーラシアの異文化交流 講師:荒川 正晴 客員教授
- フランスの文化と言葉 講師:安齋 有紀 客員准教授
- 生物たちの生きる仕組み 講師:尾崎 浩一 客員教授
- 岩石と鉱物の世界 講師:高須 晃 客員教授
- 日常生活において誰にでも見られる心の働き 講師:村瀬 俊樹 客員教授

◆学生のためのパソコン活用講座

放送大学の教務情報システム「システム WAKABA」の操作方法を中心に、島根学習センターの職員が研修会を行っています。

●放送大学学生のためのインターネット利用教室 令和5年度(延べ7人参加)

日時 10月25日(水)、11月29日(水)、12月20日(水)いずれも15:00~17:00

会場:島根学習センター第2講義室

●Web 単位認定試験体験会 令和5年度(延べ6人参加)

松江会場 (島根学習センター第2講義室)

12月7日(木)、24日(日)、1月9日(火) いずれも、10時~11時、14時~15時

浜田会場 (いわみーる3F 302号室)

12月13日(水) 11時~12時、14時~15時

◆客員教員によるゼミ(学習会)

2023年5月から、放送大学学生を対象に、島根学習センター客員教員によるゼミ(学習会)を開催しました。令和5年度(延べ161人参加)

客員の先生方が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。

●中央アジアの社会文化

講師:荒川 正晴 客員教授

●新しく学ぶ外国語

講師:安齋 有紀 客員准教授

●生物の不思議 ～分子から生態まで～

講師:尾崎 浩一 客員教授

●島根の地質・岩石・鉱物

講師:高須 晃客員教授

◆学習相談

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、毎月2回程度、客員教員による対面またはオンライン方式で学習相談を実施しました。令和5年度(延べ30人実施)

◆学生研修旅行

●雲南・奥出雲ツアー

島根学習センターが企画し、実施しました。令和5年度(9人参加)

中世から近世にかけて、鉄の一大産地であった奥出雲と雲南をめぐる旅。

・日時:11月12日(日)

菅谷たたら山内・生活伝承館や絲原記念館、奥出雲たたらと刀剣館など



◆サークル活動

サークル名	活動	活動内容
古文書を読む会	原則毎月1回 (第3水曜日) 13:30~15:30	古文書を自分で読めた時の喜びや達成感ばかり知れません。古文書の解説だけでなく、時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。
だんだんサロン・表現の会	毎月1回 (主に第3木曜日)	以前続けてきた活動をリニューアルし、10月からサークル活動として行っています。表現活動を通して豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。
学友会	随時	「勉強会」、「学生研修旅行(センターとの共催)」、「松江散策ツアー」など、学習に役立つことや学生間の交流を行っています。 また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みも行っています。



島根学習センター 令和6年度第1学期の学生現況

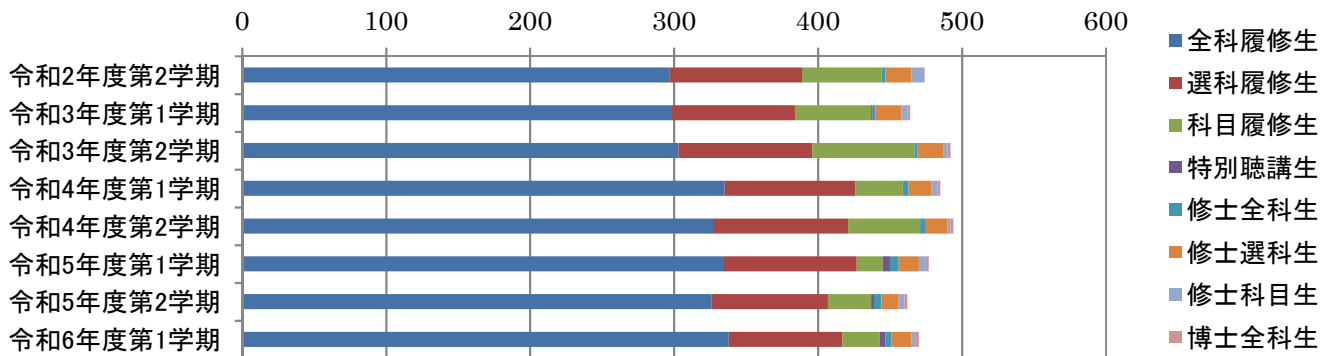
◆学生数の推移

- ・1学期の学生数は、教養学部では令和5年度と比べ4名減少し、大学院は2名減少した。合計で470人となり、令和5年度を下回った。
- ・新入生は令和5年度と比べ、教養学部が7名増加し、大学院は2名減少した。
- ・学生数合計では、15歳以上の人口に対する学生数の比率は全国平均を若干上回った。
(R2国勢調査の人口比 …… 島根 0.079%、全国 0.072%)

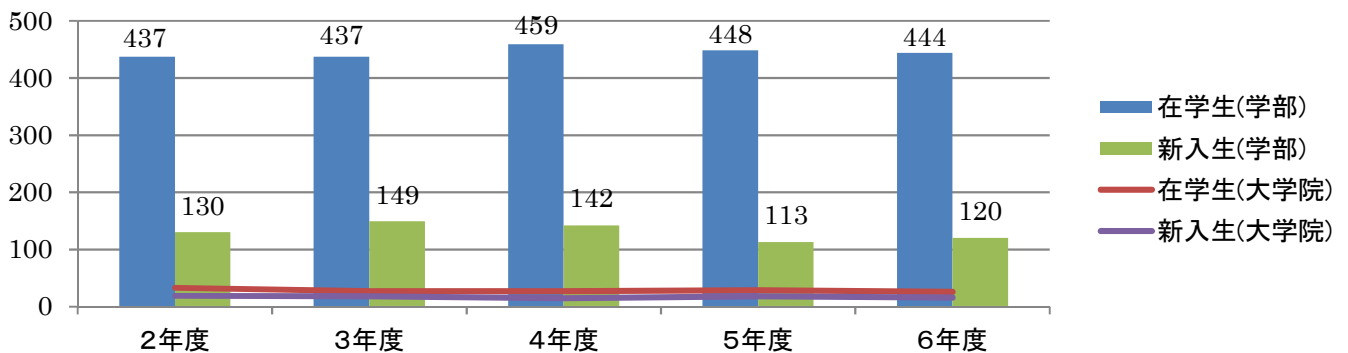
[単位：人]

		教養学部					大学院						合計	うち 新入生	
		全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	小計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	博士全科生	特別聴講生	小計		学部	大学院
R2年度	1学期	307	97	29	4	437	4	21	4	1	3	33	470	130	19
	2学期	297	92	55	0	444	3	18	8	1		30	474	116	14
R3年度	1学期	298	86	53	0	437	2	18	4	2	1	27	464	149	18
	2学期	303	93	71	0	467	2	18	3	2		25	492	141	10
R4年度	1学期	335	91	33	0	459	4	16	4	2	1	27	486	142	15
	2学期	327	94	50	0	471	4	15	2	2		23	494	120	8
R5年度	1学期	334	93	18	3	448	6	14	5	2	2	29	477	113	18
	2学期	326	81	30	2	439	5	12	4	2		23	462	82	8
R6年度	1学期	338	79	26	1	444	4	14	3	2	3	26	470	120	16
	2学期														

在学生の学生種別別推移



各年度1学期の推移



◆履修科目の状況(令和6年度第1学期)

- ・教養学部全科履修生は、心理と教育コースの登録者が37%と最も多く、次いで生活と福祉コースが約18%となっている。また、科目別にみても、この2つのコースの科目がより上位となっており、面接授業や基盤科目でも履修者の多い科目がある。
- ・大学院では、生活健康科学プログラムの科目が多く履修されている。

○全科履修生の登録状況

・教養学部全科履修生の登録コース

コース名	人数	割合
心理と教育コース	125	37.1%
生活と福祉コース	55	16.3%
人間と文化コース	46	13.6%
社会と産業コース	49	14.5%
自然と環境コース	28	8.3%
情報コース	34	10.1%
計	337	100.0%

・大学院修士全科生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
社会経営科学プログラム	1	25.0%
人間発達科学プログラム	0	0.0%
生活健康科学プログラム	1	25.0%
人文学プログラム	2	50.0%
計	4	100.0%

・大学院博士全科生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
社会経営科学プログラム	1	-
人間科学プログラム	1	-
計	2	-

○登録数上位の科目名(教養学部)

順位	科目名	登録数	所属コース等
1	より良い思考の技法('23)	25	基盤科目
2	心理学概論('24)	20	心理と教育、人間と文化、社会と産業、資源と環境、情報
3	日本語リテラシー('21)	19	心理と教育、生活と福祉、社会と産業、人間と文化、情報、自然と環境
4	人体の構造と機能('22)	17	心理と教育、生活と福祉
4	多文化共生のコミュニケーション('24)	17	人間と文化、心理と教育、社会と産業
6	疾病の成立と回復促進('21)	16	心理と教育、生活と福祉、人間と文化
6	食と健康('24)	16	生活と福祉、心理と教育、社会と産業
8	看護学概説('22)	14	人間と文化、生活と福祉
8	社会福祉-新しい地平を拓く('22)	14	心理と教育
8	心理と教育へのいざない('24)	14	心理と教育、情報、社会と産業、人間と文化
8	知覚・認知心理学('23)	14	心理と教育
8	特別支援教育基礎論('24)	14	心理と教育、人間と文化
13	グリーンサポートと死生学('24)	13	心理と教育、生活と福祉、人間と文化、社会と産業
13	錯覚の科学('20)	13	心理と教育、人間と文化、生活と福祉、自然と環境
13	心理学実験2	13	心理と教育、生活と福祉、情報
13	知的障害教育総論('20)	13	心理と教育
17	宮沢賢治と宇宙('24)	12	人間と文化、自然と環境
17	教育・学校心理学('20)	12	心理と教育、生活と福祉
17	今日のメンタルヘルス('23)	12	心理と教育、生活と福祉
17	疾病の回復を促進する薬('21)	12	生活と福祉、心理と教育
17	情報セキュリティ概論('22)	12	情報
17	心理カウンセリング序説('21)	12	心理と教育
17	心理学研究法('20)	12	心理と教育、自然と環境
17	心理学統計法('21)	12	心理と教育、生活と福祉、情報
17	地域・在宅看護論('23)	12	生活と福祉
17	日本語アカデミックライティング('22)	12	基盤科目

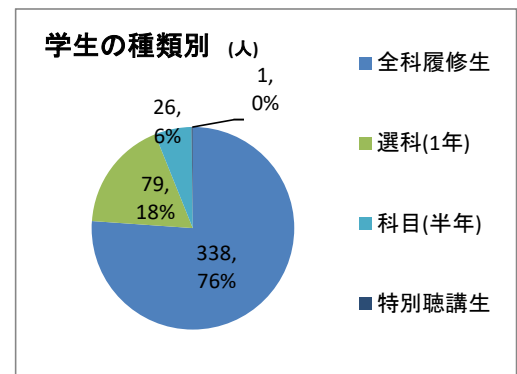
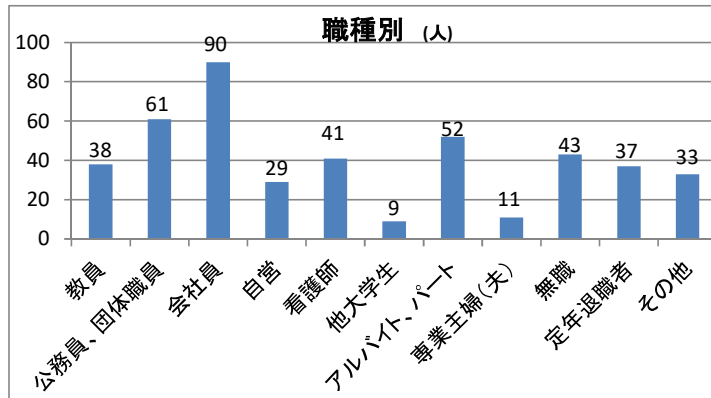
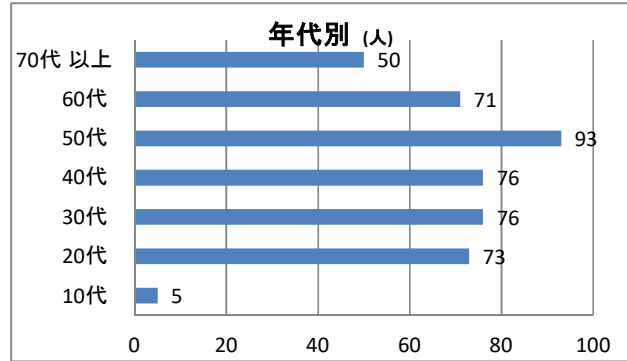
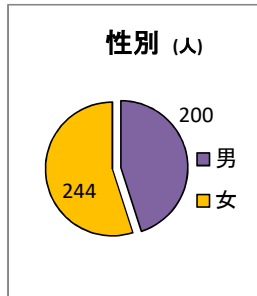
○登録数上位の科目名(大学院)

番号	科目名	登録数	プログラム
1	統合臨床病態生理学・疾病概論('19)	7	生活健康科学
1	フィジカルアセスメント特論('16)	6	生活健康科学
1	臨床推論('16)	6	生活健康科学
1	統合医療安全・特定行為実践特論('19)	5	生活健康科学
1	特定行為共通科目統合演習('17)	5	生活健康科学
1	臨床薬理学特論('17)	5	生活健康科学
7	eラーニングの理論と実践('24)	2	情報学
7	教育文化の社会学('17)	2	人間発達科学
7	現代社会心理学特論('15)	2	人間発達科学
7	発達心理学特論('21)	2	臨床心理学
7	臨床心理学特論('23)	2	臨床心理学
7	臨床心理面接特論Ⅰ('19)	2	臨床心理学
7	臨床心理面接特論Ⅱ('19)	2	臨床心理学

教養学部	444人
大学院	26人
計	470人

◆教養学部 在学生の状況(令和6年度第1学期)

- ・性別では女性が約55%、年代別では10代から50代までの現役世代が約73%。
- ・職種別では、会社員が最も多く、自営を合わせた民間企業の方が全体の約27%。
- ・次いで多いのが公務員・団体職員、アルバイト・パート職員で、キャリアアップを図ろうとする意向が見られる。
- ・また定年退職者も多く、生涯学習に向けた学ぶ意欲のある60代以上の方が約27%在籍。
- ・学生の種類別では、全科履修生が約76%、次いで選科履修生が約18%。



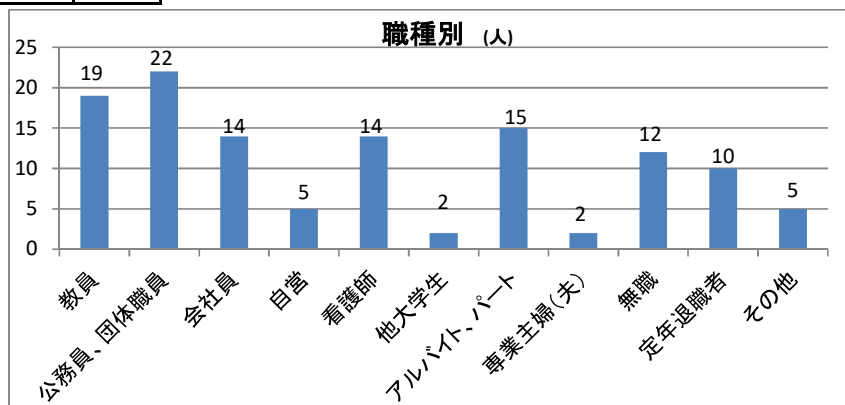
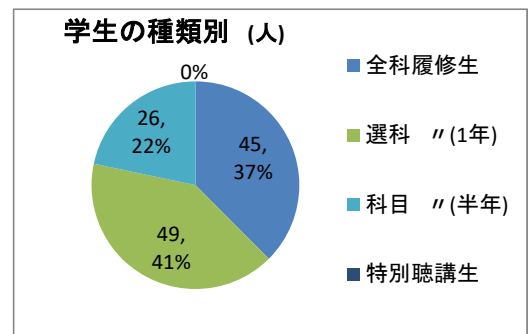
◆教養学部 新入生の状況(令和6年度第1学期)

- ・職種別では、公務員、教員が最も多く、次いで、アルバイト・パートの方、会社員、看護師が多い。
- ・学生の種類別では、選科履修生が41%、全科履修生が約37%となっている。
- ・年代別では、50代、40代・30代の順に多く、各年代から入学している。

入学種別	人数
一般入学	100
再入学	7
編入学	5
通算入学	0
学士入学	8
特別聴講生	0
計	120

年代別	人数
10代	4
20代	14
30代	23
40代	23
50代	25
60代	20
70代以上	11
計	120

性別	人数
男	57
女	63
計	120



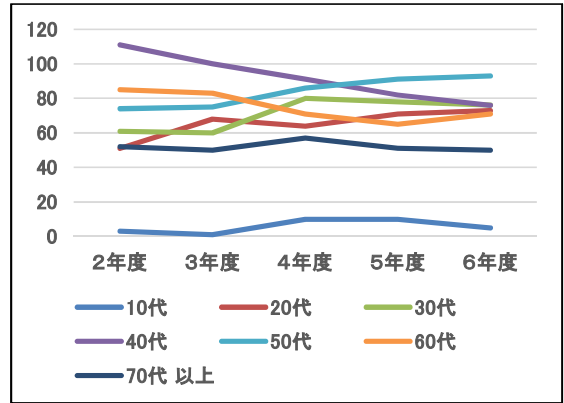
◆教養学部在学生の年代別、職業別推移(過去5年間の第1学期の数値)

●年代別

- ・前年比較では20代、50代、60代が増加。
- ・10代、30代～40代、70代以上は減少。

[単位:人]

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
10代	3	1	10	10	5
20代	51	68	64	71	73
30代	61	60	80	78	76
40代	111	100	91	82	76
50代	74	75	86	91	93
60代	85	83	71	65	71
70代以上	52	50	57	51	50
計	437	437	459	448	444

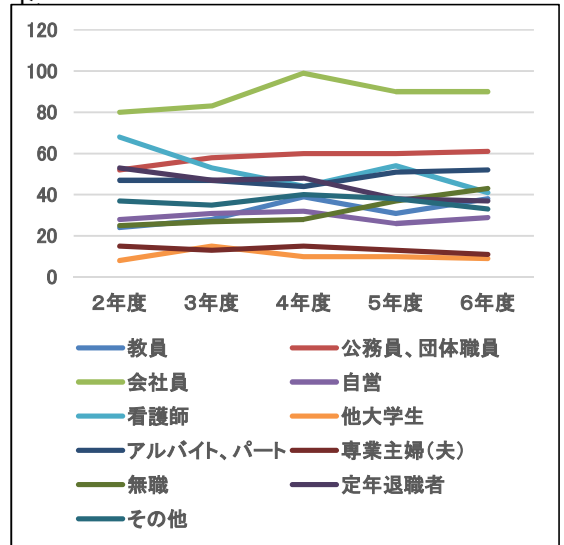


●職業別

- ・前年比較では教員、公務員・団体職員、自営、アルバイト・パート無職が増加
- ・毎年、会社員が最も多く今年度は90人。

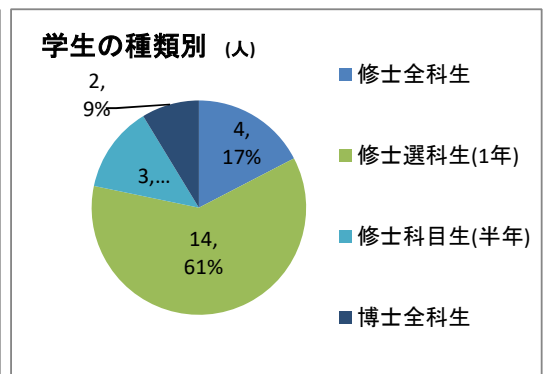
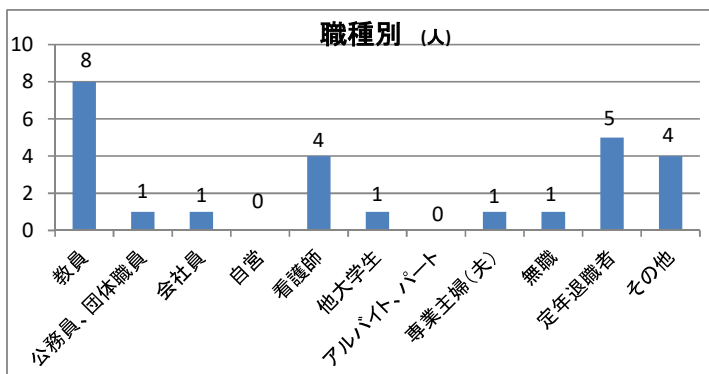
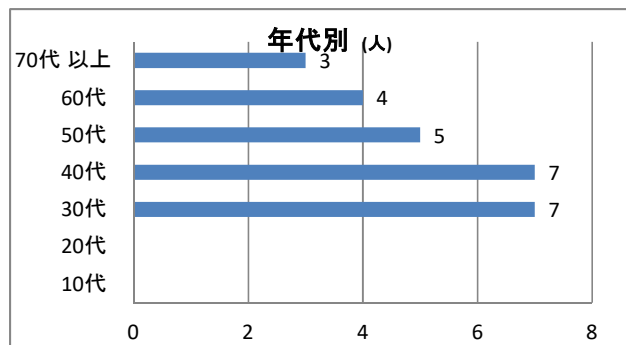
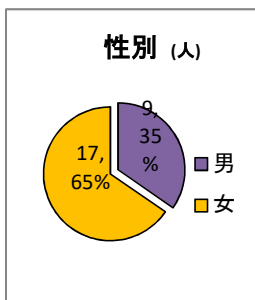
[単位:人]

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
教員	24	28	39	31	38
公務員、団体職員	52	58	60	60	61
会社員	80	83	99	90	90
自営	28	31	32	26	29
看護師	68	53	44	54	41
他大学生	8	15	10	10	9
アルバイト、パート	47	47	44	51	52
専業主婦(夫)	15	13	15	13	11
無職	25	27	28	37	43
定年退職者	53	47	48	38	37
その他	37	35	40	38	33
計	437	437	459	448	444



◆大学院 在学生の状況(令和6年度第1学期)

- ・性別では女性が65%、年代別では30代から50代までの現役世代の方が73%。
- ・職業別では教員が最も多く、次いで定年退職者、看護師が多い。
- ・学生の種類別では修士選科生が61%、全科生は修士4名、博士2名。



◆教養学部卒業生の推移

[単位:人]

※平成 21 年度、平成 28 年度にカリキュラムの見直しが行われ、教養学部の専攻・コース、大学院のプログラムについても再構築された。

<旧 専 攻>

		生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	合 計
平成 11～27 年度		118	108	30	20	31	14	321
平成 28 年度	第 1 学期	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 学期	1	0	0	0	0	0	1
平成 29 年度以降		0	0	0	0	0	0	0
合 計		119	108	30	20	31	14	322

<新 コ ー ス>

		生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	情 報	合 計
平成 21～30 年度		83	99	34	42	12	12	282
令和元年度	第 1 学期	3	4	3	0	1	0	11
	第 2 学期	6	8	3	0	0	1	18
令和 2 年度	第 1 学期	6	11	4	1	2	2	26
	第 2 学期	7	10	0	3	2	1	23
令和 3 年度	第 1 学期	5	2	2	4	0	0	13
	第 2 学期	0	5	2	2	0	2	11
令和 4 年度	第 1 学期	4	4	3	1	3	2	17
	第 2 学期	5	8	1	4	1	0	19
令和 5 年度	第 1 学期	6	5	3	1	0	1	16
	第 2 学期	7	11	3	0	1	3	25
合 計		132	167	58	58	22	24	461

◆大学院修了生の推移

[単位:人]

<旧 プ ロ グ ラ ム>

	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理	合 計
平成 15～24 年度	10	4	1	1	16

<新 プ ロ グ ラ ム>

	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床 心理学	社会経営 科学	文化 情報学	人文	情報	自然環境 科学	合 計
平成 22～30 年度	2	6	1	3	2	0	0	2	16
令和元年度	1	1	0	0	0	1	0	0	3
令和2年度	0	0	1	0	0	0	0	0	1
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	3	8	2	3	2	1	0	2	21

令和6年度第1学期 市町村別在籍者数

[単位:人]

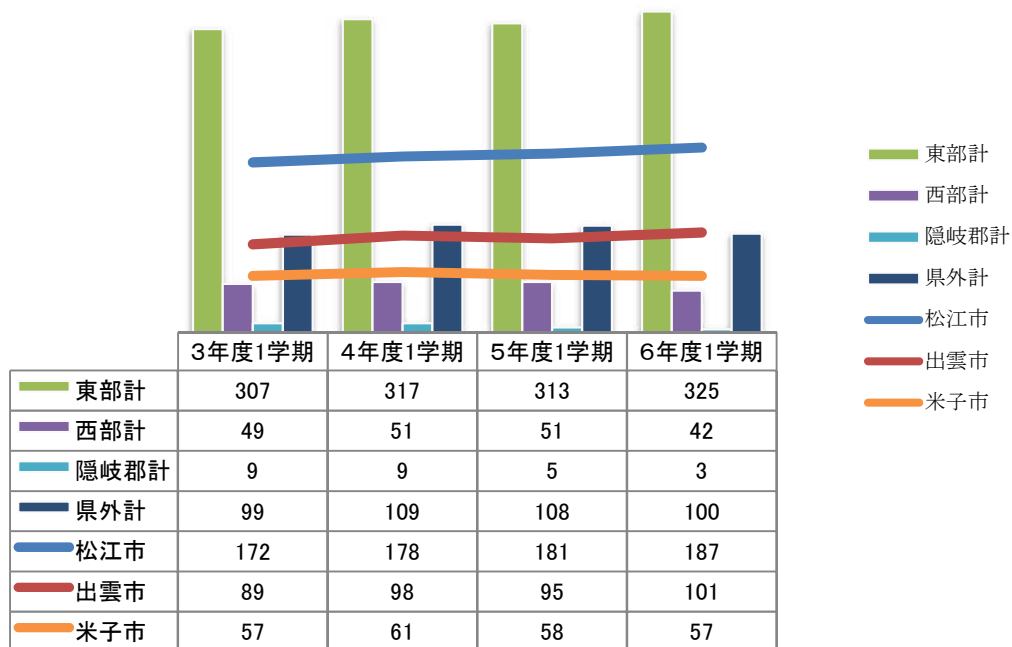
市町村名	学 部				大 学 院					計
	全 科	選 科	科 目	特 聴	全 科	選 科	科 目	博 士	特 聴	
松江市	121	36	15	1		8	3	2	1	187
安来市	11	6	1							18
出雲市	77	15	3		1	3			2	101
雲南市	9	1	1							11
仁多郡奥出雲町	6	1								7
飯石郡飯南町	1									1
東部 小 計	225	59	20	1	1	11	3	2	3	325
大田市	10	2								12
江津市	3	1	1							5
浜田市	13	2								15
益田市	4	2			1					7
邑智郡美郷町		2								2
邑智郡邑南町	1									1
西部 小 計	31	9	1		1	0	0	0	0	42
隠岐郡隠岐の島町	1	1								2
隠岐郡西ノ島町	1									1
隠岐 小 計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
鳥取県米子市	44	8	3		1	1				57
“ 境港市	14					1				15
“ 倉吉市	1	1								2
“ 南部町	3									3
“ 伯耆町	3		1							4
“ 大山町	5		1							6
“ 日南町	2									2
“ 湯梨浜町					1					1
“ 日吉津村						1				1
香川県	2									2
東京都	2									2
神奈川	1									1
山梨県	1									1
愛知県	1									1
兵庫県	1									1
県外 小 計	80	10	5		2	3				100
合 計	338	79	26	1	4	14	3	2	3	470



県内市町村白地図から

資料提供：島根県地域振興部市町村課

地域別の在籍者数推移（人）



- ・地域別の構成比は、県東部 69%、県外 21%、西部 9%、隠岐 1%
- ・前年と比較して、県東部地域は増加、その他の地域は減少した。

(R6/R5……松江 103%, 出雲 106%, 米子 98%)

【島根学習センターの現況】

○体制 所長

客員教員 6名

事務局 事務長以下6名

○施設 (スティックビル内)

3階 第1講義室

4階 第2講義室、図書・視聴室、客員教員室、談話室、事務室

○西部コーナー (再視聴施設)

浜田コーナー 浜田市野原町 1826-1 県立西部社会教育研修センター内

益田コーナー 益田市常盤町 8-6 益田市立図書館内

○主な事業・活動

- ・面接授業の開設
- ・所長、客員教員による学習相談
- ・公開講演会の開催
- ・だんだんセミナーの開催
- ・ゼミの開催
- ・サークル活動、同窓会活動
- ・学位記授与式、入学者の集いの開催
- ・卒業研究ガイダンス、卒業論文発表会の開催
- ・在学生の履修相談、入学説明会



 **放送大学** 島根学習センター

〒690-0061 島根県松江市白潟本町4-3

スティックビル4階

TEL 0852(28)5500

FAX 0852(28)1800

